

# 国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築

国立大学改革強化推進補助金（平成24年度選定事業）

1 / 3

## 事業の目的

本事業は、国際的・社会的にリーダーとして活躍する獣医師の養成、我が国の獣医学教育の水準の向上という観点から、2つの共同獣医学課程の一層の高度化に取組み、北日本と南日本の地域特性を生かした教育プログラムの開発と相互利用、国際認証の取得に向けた戦略的連携を推進するとともに、これを礎に、獣医学教育改革を先導することを目的としている。

## 事業の概要

本事業は、獣医学の共同教育を実施する国立大学4校が、欧州認証を指標として国際水準化を達成し、国際通用力のある獣医師の養成及び我が国の獣医学教育の水準向上を図る連携事業である。各大学の強み・特色を生かした教育コンテンツ作成、実務教育の拠点形成など、教育環境の改善を実施し、2020年度までに欧州獣医学教育認証を取得することで、我が国の獣医学教育の国際水準化を国内外へ示すほか、認証取得過程で得た知見をもとに、アジアにおける獣医学教育の高度化、評価基準の構築を牽引するものである。

## 事業実施校

(代表大学)  
帯広畜産大学

(連携大学)  
北海道大学  
山口大学  
鹿児島大学

## 主な成果目標及び達成指標

### 1) 欧州認証取得に向けての調査・研究、事前診断などの実施

EAEVE（European Association of Establishments for Veterinary Education：欧州獣医学教育機関協会）の欧州獣医学教育認証を確実に取得するため、平成29年度に実施するCV（Consultative Visitation：公式事前診断）において高評価を得る。

#### 【主な達成指標】

- ① 2014年度～2016年度に、EAEVE認証取得大学の協力の下で実施した非公式事前診断において指摘された事項の改善、教育環境の充実
- ② EAEVEの評価基準の変更に对应すべく、教育の質保証体制の整備
- ③ 公式事前診断において高評価を得て、容易な改善による認証取得に目処

### 2) 教育コンテンツの作成、実習教育の拠点形成

日本の獣医学教育の水準向上に貢献するため、各大学でそれぞれの特性を生かした教育コンテンツを作成し、国内の獣医系大学への提供を開始する。また、先進的な教育プログラム、教育設備などを活用した実習教育を、他の獣医系大学の学生や地域の獣医師などに提供する。

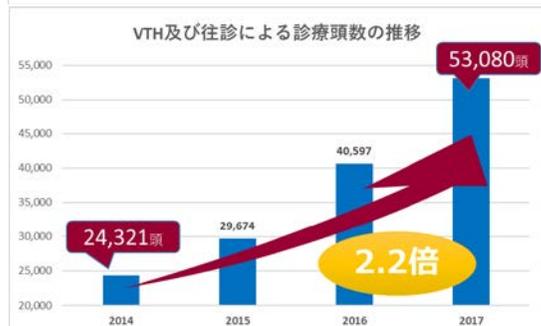
#### 【主な達成指標】

- ① 4大学で作成・共有する教育コンテンツ数の増加。作成した教育コンテンツの公開、国内の獣医系大学への提供
- ② リカレント教育など学外への実習教育の提供数、参加者数

## 実績・成果①

### 【指摘事項改善・教育環境の充実】

2014年度～2016年度に欧州認証取得大学の協力の下で実施した非公式事前診断において指摘された事項（診療頭数、病理解剖数の不足など）を改善し、教育環境を充実させた。



## 実績・成果②

### 【欧州獣医学教育認証取得に向けた事前診断】

2017年7月に北海道大・帯広畜産大が、同年10月に山口大・鹿児島大がCVを受審した。その結果、指摘事項は改善が容易な内容に留まり、直ちにFV（Full Visitation：公式診断）を受けるべきとの意見をいただいたため、当初予定から1年前倒しの2019年度にFVを受審することを決定した。



①北海道大・帯広畜産大におけるCVの様子

②山口大・鹿児島大におけるCVの様子

## 実績・成果③

### 【教育コンテンツ作成、実習教育の拠点形成】

各大学において動画やシミュレータなどの教育コンテンツ数を増加させ、スキルスラボを充実させた。その結果、自己学習やOSCE対策として学生利用が増加した。また、実習に用いる動物数の減少や動物への負荷軽減にも繋がり、動物福祉が向上している。これらの教育コンテンツのうち、eラーニング教材など44点を2018年3月から他大学へ公開、提供を開始した。また、卒後教育として、外部に対しても様々なセミナーなどを開催し、地域の獣医学教育及び畜産業の振興に役立っている。



## 今後の予定・展望

欧州獣医学教育認証については、2019年6月に山口大・鹿児島大が、7月に北海道大・帯広畜産大がFVを受審し、2019年度中の認証取得を目指す。獣医学教育認証制度については、①日本においては、引き続き教育コンテンツ及び実習教育の提供を続けるとともに、欧州認証に関する情報も積極的に公開する。②アジアにおいては、2018年に開催された第17回ASIAN ASSOCIATION OF VETERINARY SCHOOLS (AAVS) 年次総会において、アジアの獣医学教育評価について協議し、今後も引き続き検討する。また、アジア地域への国際水準の獣医学教育展開として、2018年度からインドネシアやタイの獣医系大学と連携して国際シンポジウムの開催などを行った。これらの活動を通じて、今後日本及びアジアの獣医学教育の質的充実に努めるとともに、AAVSなどにおける認証制度構築を目指す。

# 国立獣医系4大学群による欧米水準の獣医学教育実施に向けた連携体制の構築

(参考) 事業の実施体制

3 / 3



(参考) 事業実施経費

|              | 2012年度      | 2013年度      | 2014年度    | 2015年度    | 2016年度    | 2017年度    | 合計          |
|--------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 事業実施経費【補助金】  | 2,475,912千円 | 1,405,984千円 | 724,944千円 | 303,641千円 | 262,386千円 | 128,194千円 | 5,301,061千円 |
| 事業実施経費【自己負担】 | 0千円         | 0千円         | 127,203千円 | 249,277千円 | 310,217千円 | 431,008千円 | 1,117,705千円 |